

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成30年度)

調査表

施設名	県立青島亜熱帯植物園・宮崎県総合運動公園
指定管理者	一般財団法人みやざき公園協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指標	H30	H29	H28	増減理由等
青島亜熱帯植物園 (単位:人)	305,464	360,737	354,981	青島亜熱帯植物園は、平成28年3月のリニューアルオープン後は、大温室の無料化もあり利用者が大幅に増加しているが、平成30年度は、7～10月の台風により利用者数が減少したことから前年度より減少している。総合運動公園は、プロ・アマスポーツキャンプが行われており、約133万人の利用者数となった。
運動公園内施設利用者 (単位:人)	1,330,358	1,399,660	1,360,353	
コメント	青島亜熱帯植物園においては、平成28年3月のリニューアルオープンを機に、亜熱帯植物園としての特色を活かした多種多様なイベント等を四季折々に開催し、魅力の向上に努めている。さらに、利用者増加に繋がる幅広い事業の展開が期待される。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H30	H29	H28	支出	H30	H29	H28
指定管理料	136,331	115,131	115,183	人件費	58,914	45,880	41,263
自主事業等	12,889	12,485	12,998	需用費・役務費	26,803	28,510	29,435
				委託料・使用料等	29,514	18,525	21,443
				経費	16,883	18,573	18,957
				自主事業支出	17,752	17,527	17,168
合計(①)	149,220	127,616	128,181	合計(②)	149,866	129,015	128,266
収支差額(①-②)	-646	-1,399	-85				
コメント	協会全体で共有資材や共有プログラムの活用により効率的な運営を行い、保有する大型機械により作業効率を挙げることで、費用の縮減を図っている。施設の収支状況は適正である。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成30年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、噴水清掃、照明器具清掃
	保守・点検	浄化槽点検(月1回)、遊具専門点検(年2回)、遊具定期点検(年12回)、園内施設安全点検(連休前・夏期休暇前・年末年始前)、照明点検(月1回)
	警備	通常パトロール、夜間巡視(月2回)
	修繕	四阿、水道蛇口、案内板、側溝、グレーチング等の整備補修
	備品等管理	県貸与備品(原動機付自転車)の適正利用・管理
	安全対策	労働災害防止対策会議(年12回)、運動公園全体自衛消防訓練参加(年2回)、植物園自衛消防訓練実施(年1回)、普通救命講習受講
	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、動物飼育業務(鯉)、施設維持管理業務(園路・遊具・トイレ他)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、レンタサイクルの実施、カフェ設置、公園管理運営マニュアル勉強会、職員接遇研修
	イベント等ソフト面充実	日向景修園お茶会、自然観察会、花の無料配布、犬のマナー教室、トロピカルフルーツフェア、ブーゲンコレクシオン2018、バラの管理講習会、春のフラワーショー、HP作成・更新、SNSの活用、情報の多言語化
	施設設備等ハード面充実	植物園案内板の更新、案内板・誘導サインの強化及び多言語化、筆談ボードの設置、貸出用車いす、ベビーベッド・ベビーラック設置、枯損枝の除去等
	その他	「青島再勢プロジェクトメンバー」、地元地区活動への参加、自主事業時のアンケート調査、公園ボランティア(「バラクラブ」(総合運動公園)、「ガーデニングクラブ」(青島亜熱帯植物園))との協働
管理運営体制	職員技能研修、個人情報保護教育、先進地視察、公園管理運営士等の資格取得、管理運営委員会	
コメント	日々の清掃やパトロール等により、利用者に安全で快適な環境を提供するとともに、両公園で公園ボランティア制度を導入し植栽管理の一部を協働で行うなど、県民との協働にも積極的である。また、自主事業等に積極的に取り組んでおり、特に青島亜熱帯植物園では、トロピカルフルーツ・ブーゲンビリア等を前面に出した自主事業を積極的に展開し、青島地域の関係団体や周辺施設と連携した取組により、青島地域活性化に貢献している。適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めていることなど、全般的に施設の管理運営は適切に行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
アンケート調査等			
(運動公園) 園内の作業車両がハザードをつけて右折・左折している。			右折・左折時にはハザードランプを止め、方向指示器をつけるよう改善した。
(植物園) 設備等の充実や改善に対する要望。(トイレの除菌ジェルの補充、説明表記の修正等)			早急に改善した。今後も可能な限り利用者のニーズに応える。

5 総合評価

評価コメント	これまで蓄積された公園管理のノウハウを活かし、利用者に対し安心・安全で快適な環境を提供している。また、創意工夫のもと地域住民及びボランティアと協働して各種事業を展開することで、両公園の魅力向上に繋げているとともに、青島地域活性化にも貢献している。両公園とも情報の発信や多言語化に積極的に取り組んでおり、HPの更新やSNSでの発信、案内板や誘導サインの多言語表記に取り組んでいる。また、総合運動公園においては、園内関係団体との綿密な連携・協議のもと、合同避難訓練を実施する等、津波対応に積極的に取り組んでいる。必要な管理運営体制のもと、適正な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	総合運動公園においては、引き続き、競技会・キャンプ等のイベントを踏まえた適切な維持管理、及び大津波等に係る防災対策の充実とともに、ネーミングライツに伴うより一層のアピール向上が求められる。また、青島亜熱帯植物園においては、年間を通じた見所の創出、早めの広報、他施設との連携など、利用者増加のための工夫が求められる。